稲城野草散策の会

野草スケッチ　カラスノゴマ（シナノキ科）

1996/09/19　　川崎市麻生区　　絵と文　Ｔａ

最近、黒川へスケッチに行くことが多い。
黒川についてはコオニタビラコの項でも紹介したが、川崎市麻生区にあって、豊な自然に恵まれた谷戸の田んぼと雑木林がある。
京王ならば相模原線若葉台駅、小田急なら多摩線黒川駅が近い。

会報第９５号　２０１２年１１月１０日発行　発行責任者　尼子　房夫

交通の便がよいので、いろんなグループ、個人が自然観察に訪れている。
稲城市に隣接していて、ここも私のフィールドにしている。

黒川といえば「多摩丘陵野外博物館」を思い出す。
といっても、別に建物があるわけではなく、そういう名前の観察会である。
黒川をメインフィールドとして、植物だけでなくあらゆる生物を観察している。
観察会には出たことがないという「初代館長」は、姉崎一馬という自然写真家だ。
「博物館」らしく、いろんな分野に詳しい「学芸員」たちが揃っていた。
数年前のことまでしかわからないが、すばらしい会であった。

植物を目的に参加するようになったのだが、鳥、昆虫、クモ、魚などもずいぶん教えてもらった。
真冬に、ウラギンシジミという成虫越冬する蝶を探し回ったことがある。
常緑樹の葉陰にとまっているのだが、「ほら、そこのシラカシの葉っぱにいるでしょう」といわれても、当時の私はシラカシもアラカシも区別できないような樹木音痴だった。
植物を覚えるにつれ、いつのまにか足が遠のいてしまったが、黒川へ来ると想い出がよみがえる。
（多摩丘陵野外博物館は現在も活躍しており、ＨＰも開かれている）

黒川へ１人で行くときには車で出かける。自宅から２０分ほどで行ける。
黒川の谷戸には農道が何本か通っており、メイン通路は舗装されているし幅も広い。
雑木林に面した道路脇で、四季折々にたくさんの野草を見ることができる。
車を降りてすぐにスケッチを開始できるのが、すばらしく便利である。
しかし、車で乗りつけたのでは、歩き回って探した場合に比べて感激が薄くなりがちだし、運動不足にもなってしまう点が問題だ。

黒川には４本の谷がある。
それぞれの谷の奥には湧き水があって、細い川が流れている。
これが農業用水として使われるのだが、湧き水だけでは量を賄えないのだろう。
地下水のくみ上げポンプも数箇所で動いている。
谷を詰めて尾根へ登れば、その先は東京都多摩市のニュータウンが開けている。
湧き水が枯渇するのも無理はないと思った。

谷を流れ出た水はやがて１本の川になる。
稲城市方面へ流れ、坂浜、百村、矢野口を経て多摩川へ注ぐ。三沢川である。
残念なことに、黒川地区内の三沢川は、悪名高き「３面コンクリート張り」だ。
特に入り口付近は川だけでなく、道路も畦も、直線で仕切られている部分が目立つ。
そうなる前のことは知らないのだが、もっとのどかな田園風景だったのだろうな、と思う。

谷から谷へ、途中の丘を越えて通る道があって、「多摩丘陵野外博物館」でもよく歩いた。
２番目の谷から３番目の谷へ抜ける道路の峠近くに車を停めたとき、カラスノゴマが目に入った。
カラスノゴマはシナノキ科に属する。あまり馴染みのない科だ。
最近良く見かけるモロヘイヤという野菜もシナノキ科で、カラスノゴマの親戚らしい。

カラスノゴマを見つけたときは、もう夕方近かったため、翌朝あらためてスケッチに行った。
当時、稲城にはないと思っていたので、このチャンスにぜひとも描いておきたかったのだ。
その後、稲城の多摩川河畔でカラスノゴマを見つけて、黒川まで行くことはなかったか、との思いが一瞬よぎった。
しかし、それが出会いというものなのであろう。
（２０００年９月記）

＊　＊　＊　＊　＊

〔観察記録〕１０月２１日　三浦･黒崎の鼻

爽やかな秋の風に誘われて三崎口駅には２９人の皆さんが集合されました。
日差しが強く気温はやや高めでしたが、湿度が低かったので、ほとんど汗をかくこともない快適な散策日和となりました。
駅前の国道を３００mほど北に向かって歩き、左折すると目の前には広大な畑が拡がります。この時期の作物は大根、見渡す限り大根畑です。三浦半島で大根とくれば三浦大根だというのはシロウト考えで、３０年ほど前から三浦大根の作付けは急激に減り、現在ではほとんどが青首大根なんだそうです。
大根畑の外れからかなり急な坂道を海岸の方に下ります。この辺りの地名は初

声町（はっせと読みます）下宮田となっているようですが、黒崎地区とも呼ばれていたようで、この日の目的地である黒崎の鼻は、黒崎の先っぽという意味なのでしょう。集落を抜け山道のような狭い道をほんの１００ｍほど歩くと浜に出ます。浜と言っても砂地はほんのわずかで磯と呼んだ方が適切でしょうか。ここまでくると、次々と海岸性の植物を観察することができます。

しばらくこのあたりを観察した後、背後のササに覆われた丘陵に入り、黒崎の鼻を目指します。一帯のササは低く刈り込まれているので見通しはいいのですが、狭い道に左右からササが覆い被さり、足元がよく見えないので慎重に歩かなければなりません。黒崎の鼻の突端近く、その辺りでは一番高い場所にちょっとした広場があり、ここで昼食タイムのつもりでしたが、後ろを歩いていた参加者から「ソナレマツムシソウが咲いているゾ～」と声がかかり、一同その場所へ戻りました。

一週間前にこの場所は下見で訪れたのですが、その折にはまだ咲いていなかったのか発見できず、本番の観察会でもダメかなぁと考えていたので、やれやれと胸をなで下ろしました。

ひとしきり観察したところで、改めて昼食タイム。遠く頂上近くに雪をまとった富士山を眺めながら食事を頬張ります。

テレビの２時間サスペンスで、真犯人と刑事が海の近くで対決する定番といってもいい最終局面がありますが、黒崎の鼻はまさにそんなシーンにうってつけのロケ地です。以前稲城の会でこの場所を訪ねたとき、ＡＤらしき人から「この先で撮影をやっていますので」と丁寧ながらも断固とした口調で先へ進むことを拒否されたことを思い出しました。

午後は黒崎の鼻の南側にある浜でひとしきり観察した後、三戸浜に向かいます。黒崎と三戸を隔てるように大きな岩が突き出ているのですが、以前は岩を囲むような砂地があって、なんなく三戸へ向かえたのですが、下見の時には岩のまわりは波に洗われていて、通り抜けることができませんでした。帰宅後調べてみたら、数年前の台風で砂地が洗い流されてしまったのだそうです。そのため、止むなくいったん台地に上がって、三戸浜へ向かいました。

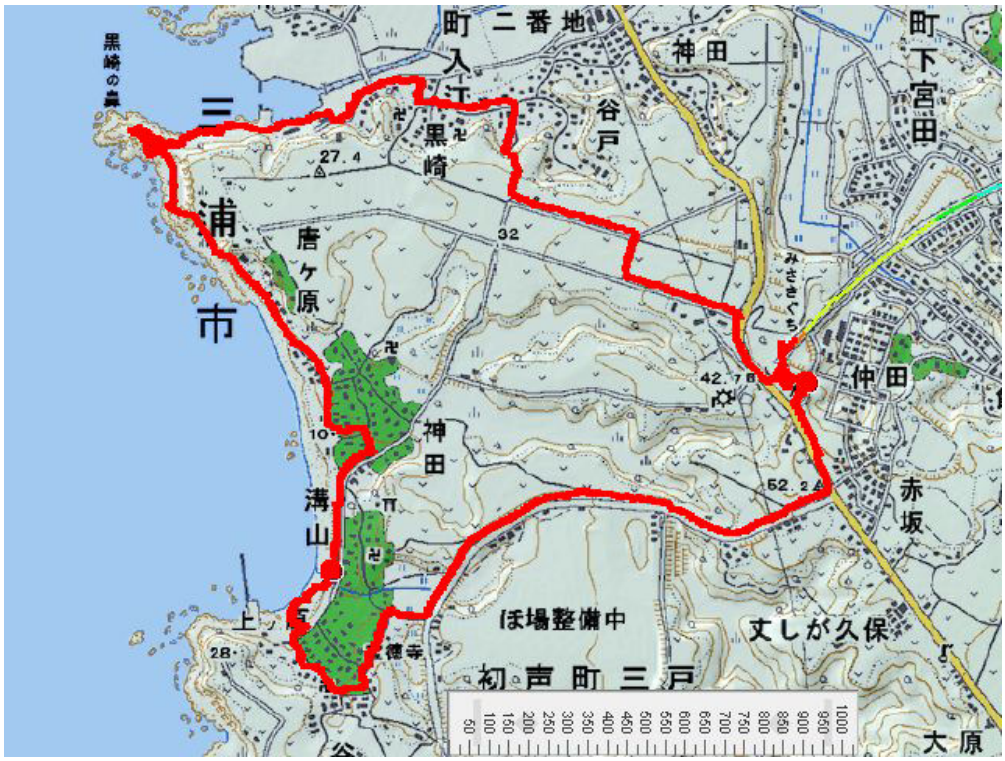
今回もそのつもりだったのですが、私たちの先を歩いていた親子連れがためらうことなく岩場に消えたので、私たちもついて行くと、この日は干潮らしく波が引いたタイミングなら、向こう側の岩へ渡れることが分かりました。幸いどなたも靴を濡らさずに渡れたようです。

三戸では海水浴場周辺の砂浜で観察をしてから、三崎口駅へ向かいました。

（とーはもん）

＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊

当日のＧＰＳデータ（Ｔａ）



▼観察記録（出現順）

イスノキ、ミズキ、マサキ(実)、フウセントウワタ(花)、ヒガンバナ、ハゼノキ、タブノキ、ムクノキ、ヒヨドリジョウゴ(実)、エノキ、スイカズラ(実)、ハマサオトメカズラ(実)、シロダモ(実)、ハキダメギク(花)、サンゴジュ、ツルウメモドキ、エビヅル、ナズナ、キブシ、ツユクサ(花)、フウトウカズラ、ミゾシダ、ホラシノブ、イタビカズラ、タイワンレンギョウ(花)、ランタナ(花)、タチシノブ、ナツヅタ、キヅタ、カニクサ、サネカズラ(実)、チチコグサモドキ、ハクチョウゲ(花)、ピラカンサ(実)、ヒメツルソバ(花)、スイバ、クコ(花)、セイタカアワダチソウ(花)、イヌカタヒバ、アレチハナガサ(花)、センニンソウ、カラスノエンドウ、アキノノゲシ(花)、キケマン、ススキ、コセンダングサ(花)、ハチジョウナ(花)、ママコノシリヌグイ(花)、テリハノイバラ(実)、オオオナモミ(実)、ギョウギシバ、ヌスビトハギ(実)、ミズヒキ(花)、ナキリスゲ、イヌビワ、ラセイタソウ、イソギク(花)、ツワブキ(花)、ヒロハクサフジ(花)、ハマボッス(実)、ノブドウ(実)、ボタンボウフウ(実)、ツルナ(花)、トベラ、ハマゴウ(花)、タイトゴメ、アシタバ(花)、ハマカンゾウ(花)、スカシユリ(実)、ワダン(花)、コマツナギ(花)、サルトリイバラ(実)、ツリガネニンジン(花)、シャリンバイ(実)、ソナレマツムシソウ(花)、ハマエノコロ、ハマヒルガオ、ハマエンドウ、ソナレムグラ、ツルボ(花)、オニヤブソテツ、ネコ

ノシタ(花)、コニシキソウ、コマツヨイグサ(花)、ヤナギバルイラソウ(花)、ノシラン、ハイニシキソウ、ハマスゲ、シロザ、ハマダイコン、ハマウド、エノキグサ、カラスザンショウ、セイバンモロコシ、ホシダ、アリタソウ、ノゲシ(花)、マルバグミ、オオバイボタ(実)、ヤマグワ、ナガバヤブソテツ、ノイバラ、オニヤブマオ

〔行事予定〕2012/12/09（日）　焼き芋大会

項　目	説　明
集　合	午前１０時、京王相模原線京王よみうりランド駅　　※会旗目標 京王よみうりランド駅の改札口は一個所だけです
交　通	京王線調布駅から相模原線橋本行快速または各停で３駅目 京王よみうりランド駅には急行は停まりませんのでご注意下さい
行く先 (解散場所)	稲城市穴沢天神での恒例・焼き芋大会です。穴沢天神で解散。最寄駅は京王よみうりランド駅です 焼き芋準備グループと観察グループの２班に分かれて行動する予定です
見所･その他	たき火(^_^;) 冬芽，常緑シダなども観察します 当会の忘年会を兼ねます。芋，酔い子の飲み物などは幹事が用意します。差し入れ大歓迎！！
コース	観察グループのコース： 駅前～よみうりランド遊歩道～小沢城址～穴沢天神（焼き芋大会）（解散：１５時３０頃）

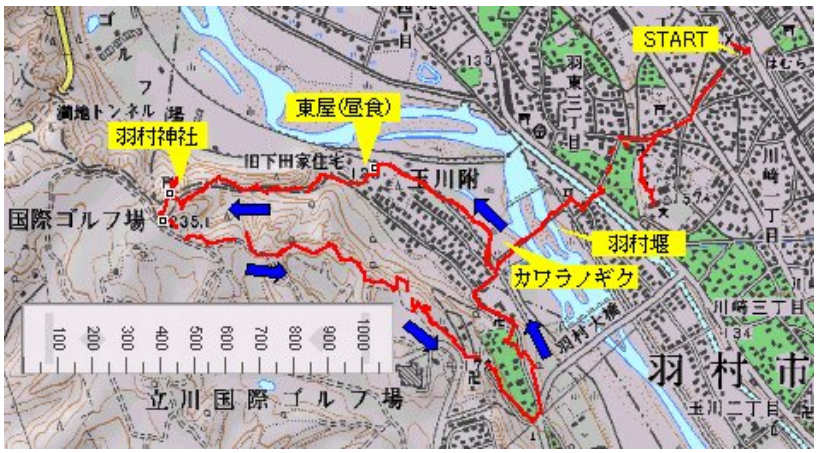
※雨天決行　参加申込み不要、会費当日５００円

〔行事予定〕2013/1/27（日）　黒川

項　目	説　明
集　合	ａｍ１０時、小田急多摩線・黒川駅南口階段下　※会旗目標 改札口は一個所だけです
行く先 （解散場所）	午前中は黒川の谷戸で七草摘みをします。 午後は２０１３年度の行事予定を検討し、ｐｍ４時頃解散予定
コース	黒川駅→汁守神社→（黒川の谷戸で七草摘み）→汁守神社→（移動）→稲城市立ｉプラザ（１２時半ころより昼食後行事予定検討）（解散・・・１６時ころ） コースは天候その他により変更する場合があります

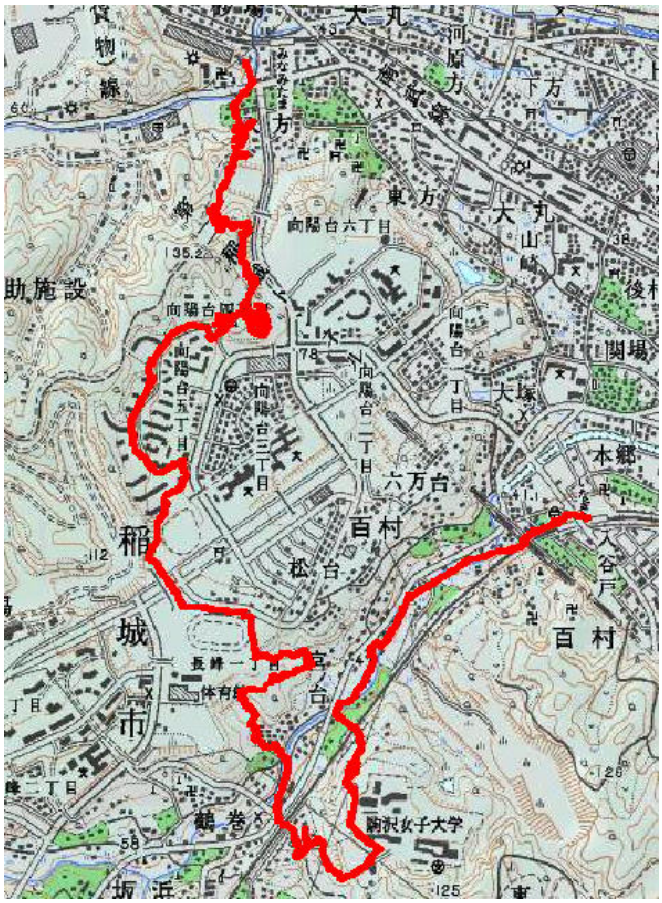
※小雨決行　参加申込み不要、会費当日３００円。

〔行事予定〕2012/11/10（土）　草花丘陵

項　目	説　明
集　合	ａｍ１０時、ＪＲ青梅線羽村駅　改札口付近　※会旗目標 羽村駅の改札口は一個所だけです
交　通	ＪＲ青梅線青梅特快　立川発９：３５　羽村着９：５５があります 立川～羽村は、約２０～２５分です
行く先 (解散場所)	草花丘陵(一回りして羽村駅へ戻ります)(下の地図を参照ください) 羽村駅にてｐｍ４時頃解散予定
見所 その他	羽村市のボランティアが保護しているカワラノギクが見ごろです カワラノギクの分布は多摩川と相模川の一部に限られています 他に、コシオガマ、コウヤボウキ、ヤマゼリ、タイアザミなどの花や各種木の実が見られます
地　図	
コース	羽村駅→羽村堰→河原（カワラノギク保護地）→羽村市郷土博物館（昼食）→羽村神社→ゴルフ場に沿った散策路→羽村大橋→羽村堰→羽村駅（解散：４時頃） 行程４～５ｋｍ程度です 多少のアップダウンがあります コースは天候その他により変更する場合があります

※小雨決行　参加申込み不要、会費当日３００円

〔行事予定〕2013/2/24（日）　城山～中央公園

項　目	説　明
集　合	ａｍ１０時、ＪＲ南武線南多摩駅　改札口　※会旗目標 南多摩駅の改札口は一個所だけです
行く先 (解散場所)	ＪＲ南武線南多摩駅から京王稲城駅まで（下の地図を参照ください） 京王線稲城駅にてｐｍ４時頃解散予定
見所 その他	冬芽、シダの観察
地　図	
コース	南多摩駅～城山公園～稲城中央公園～清水谷戸～駒沢学園～ 京王稲城駅（解散：４時頃） 駅近くにコンビニあり。途中、トイレは数箇所あります コースは天候その他により変更する場合があります ご用のある方は途中で抜けても構いません

※小雨決行　参加申込み不要、会費当日３００円